

# 奈良の倭の奴の国宝

文 哲夫(笑い飯)  
Tetsuo (Wairameshi)

画 浅妻健司

これは、みなさんの共感を得られるであろうとの自信に基づいて提言することなんです。地元っていいですよ。大好きですよ。そんなことないですか。

奈良出身だからでしょうか。自然があるからでしょうか。なぜか地元が好きでたまらないんです。地元に戻返しをしたいという気持ちも、年々高まっています。例えば、「奈良なんかなんもない」という讒言(ざんげん)を聞いて育ちました。子供の頃は確かに、奈良は海もないし、空港もないし、背の高いビルもないしと、都会やドラマとの格差に嘆息をもらしていたかもしれせん。しかし今から振り返れば、あの大人たちの讒言は、ただ遠慮がちな人が奈良のことを卑下して言っただけやん、と確信できるのです。つまり、奈良にはなんもないことなく、なんやかんやあるのです。

まず古墳があります。日本史の教科書で、一番初めに出てくる航空写真といえば、古墳ではないでしょうか。しかも、先日、世界遺産に登録されました粟や百舌鳥(ももぢり)の古墳群よりも先に登場するのが、奈良の箸墓古墳(はしむす)なのです。箸墓古墳は、古墳時代初期の築造であり、巨大な前方後円墳では最古のものとも伝えられています。教科書に掲載されるのも納得できます。個人的にはこれが誇らしくて誇らしくて、しよ

うがありませんでした。なぜなら、その航空写真には、うちの畑が写っているからです。

次に、美しい川があります。山に蓄えられた水源は、自然の浄水器を通して川の上流から下流へと流れています。また、先人たちの努力による灌漑のおかげで、奈良の平野部にもその美しい水が流れ込んでおり、その水に育てられた稲穂には、無類の米が実るわけですから、めちゃうまいご飯が炊けます。おにぎりにしてみても、抜群にそのよさが伝わると思っています。

また、川のほとりでやるバーベキューは楽しいですし、釣りもできます。釣れた鮎(あゆ)やアマゴを炭で焼くと、ビールをおかわりしたくなります。川面は日の光をいつも上手に跳ね返っていて、一回くしゃくしゃにしてから広げてみたアルミホイルのように輝いています。片手にビール、もう一方の手に魚の串、周りを伺うと、おにぎりがまだあと少し残っていて、最高の歓声を上げるわけです。

あと奈良の大事な存在として、ラーメン屋があります。ラーメン屋ならどこにでもありと失笑されるかもしれませんが、奈良には、やばいくらいおいしいラーメン屋があるのです。また近年では、県内のいたるところにラーメン屋が立ち並び、激戦区を形成するほどになっています。しかし、全国的にみると奈良におけ

るラーメン屋の店舗数は少なく、人口10万人あたりのラーメン屋店舗数というデータで見ると、47位、なんと全国最下位になります。だからすごいんです。まずい店がまず「ない」という結論に至るのです。しかも、奈良には古(いにし)から三輪(さんりん)そうめんという名産があります。そうめんはそうめん(そうめん)で日本一の味とコシを誇っています。それなのにまだ、ラーメンでも日本一になろうとしているのです。

おそらく、三輪(さんりん)そうめんのおかげで舌を上等にさせた奈良の少年少女が、麺類(めんるい)の虜(とりこ)となり、その追求によって生まれた傑作が、奈良の極上(ごくじやう)ラーメンとなったのでしよう。ラーメンの上部やスープには、大和野菜やヤマトポーク、大和肉鶏(おほむねとり)などが各々のポテンシャルを発揮している場合もあります。

大和牛(おほむね)もあります。その起源を遡れば、神武天皇が大和国(おほむね)で牛肉を食したと思われる記述も残るほど、歴史のある食肉です。

また昨今、あちこちで姿を消していくのが、遊園地です。ディズニールランドやUSJなど、海外産のテーマパークに人口が集中してしまった産業において、日本産の遊園地はもはや国産牛肉に並ぶ上質感がありません。さて、奈良には生駒山(なまがま)遊園地があります。見晴らしのいい山の頂に、花が咲き誇る見事なテーマパークが根強く君臨しています。

奈良健康ランドもあります。健康になれるのはもちろん、遊具もたくさんあります。吉本新喜劇もやっています。

ここまで、奈良の魅力を並べさせていただきました。読者のみなさんにお伝えすることによって、少しでも地元(じよん)に恩返し(おんがへし)ができたかなと思っております。ではここから、奈良以外のいろんな地域にできるだけ恩返しをします。

箸墓古墳(はしむす)の航空写真を載せてくださっている山川出版(さんげん)さんは、東京に本社を構える出版社さんです。東京(とうきやう)のおかげで、奈良の古墳(こふん)が全国(ぜんこく)に紹介(かいけい)していただけました。

雨(あめ)となつて奈良(なら)の山々(さんざん)に降り注いだ水は、和歌山(わかやま)など南方(なんぽう)の県(けん)から上昇気流(じやうきりゅう)に乗って運ばれてきた水だったかもしれません。おにぎりにしても、海(うみ)のある都道府県(とふけん)から塩(しほ)と海苔(のり)をいただき、それらと融合(ゆうごう)させていただくことによって、奈良(なら)の米(こめ)を引き立てていただきました。

また、ラーメン、野菜、豚肉、鶏肉、牛肉と、京都(きやうと)や兵庫(ひんごう)などで培われたアイデアは、奈良(なら)の食文化(じきぶんか)をも向上(じやうじやう)させてくれたことでしょう。大阪(おさか)のUSJ(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)は遊園地(ゆうえんち)の最高傑作(かくげいさく)ですし、滋賀(しが)のニユーびわこ健康サマーランド(ニユーびわこ健康サマーランド)のように、いろんな地域(ちいき)に優れた施設(しせつ)があります。みなさんの地元(じよん)って、最高(かくげい)ですよ。

てつお 漫才コンビ「笑い飯」のボケ・ツッコミ担当。

1974年奈良県生まれ。吉本興業所属。第10回M-1グランプリ2010優勝をはじめ、数々の受賞歴あり。2012年には奈良市観光特別大使に任命され、寺社や古墳を中心に奈良県(ならけん)の魅力(魅力)を発信(はつしん)するなど幅広く活躍(かくごう)している。

